



みみ

耳よい

メール

国立病院機構 相模原病院 広報誌
平成28年12月28日号
発行：国立病院機構 相模原病院
発行責任者：金田 悟郎
住所：相模原市南区桜台18-1
電話：042-742-8311（代表）
F A X：042-742-5314

第73号



カナダ・イエローナイフから見たオーロラ（撮影：看護部 矢内 圭太）

第73号 目次

- ◆ 「慢性心不全看護認定看護師のお仕事」… 2
- ◆ 「患者サロン“クローバー”のご案内」… 3
- ◆ 「行幸道路あれこれ」… 4
- ◆ 「クリスマスジョイフルコンサート」… 5
- ◆ 【国立病院総合医学会報告】
「口腔ケアの院内ラウンドをはじめて」
～標準プログラムを使用した他院との
評価点の比較～… 6
- ◆ 「解剖慰霊祭について」… 7
- ◆ 「職員募集のご案内」… 7

連載 近隣協力医療施設の紹介コーナー

相模原市南区「東林間歯科」… 8



SAGAMIHARA
NATIONAL
HOSPITAL

私たちは患者の皆さまの
人権を尊重し、
十分な説明と同意に基づ
き親切で心こもった医
療を提供します。

「慢性心不全看護 認定看護師のお仕事」

慢性心不全看護認定看護師

中川 奈津子

慢性心不全看護認定看護師ってなに？ どんなお仕事しているの？

皆さん、こんにちは。「慢性心不全看護認定看護師」の仕事についてご紹介します。「慢性心不全看護認定看護師」は、慢性心不全を抱える患者さんに対して心不全の増悪、回避、予防のためのケアを行います。またどのようなことが重なると心不全が悪化するのかをご自分で気づけるためにモニタリング(観察・点検・記録)をして、心不全が重症化しないように患者さんと一緒に生活習慣の改善方法を考えます。

心不全増悪につながる生活習慣として内服薬の自己中断、水分・塩分制限の不徹底、感冒等の感染等があげられます。それらは患者さんご自身で予防できることであり、その自己管理能力を高める方法を一緒に考えます。

そして、心不全患者さんが病状の悪化を繰り返すことなく、自宅で安心した生活ができ更に生活の質の維持、向上ができるように医師や他の職種と連携して生活調整をさせていただきます。



心不全患者指導介入の流れ

心不全患者さんが入院されると主治医を通して生活指導介入依頼をいただきます。今回の心不全増悪原因は何か、生活習慣で心不全増悪要素となっているものは何かを患者さんと話し合います。入院初期から介入させていただき、退院前に評価を行います。

<心不全看護外来>

退院したあとに外来にて面談を行います。入院中に一緒に考えた日常生活習慣について、またセルフモニタリング(自己管理)について守れているか、患者さんの日常生活に則したものになっているかの評価をしています。

<外来風景>



慢性心不全看護認定看護師からのメッセージ 「こころ(心)の声を大切にしましょう。」

<今後の活動計画>

- 患者さんに対して、心不全の増悪予防の自己管理についての指導・相談・生活調整を行います。
- 院内スタッフに対して、心不全の病態やセルフモニタリングの内容方法についての指導・相談を行います。
- 近隣のクリニックに対して、患者さんがより安全に日常生活を過ごせるための情報提供等を地域連携室を通して行います。
- 当院において長期予後が改善することがエビデンスとして挙げられている心臓リハビリテーションの啓発を進めていきます。

心不全の自己管理目標は次の3つです



「患者サロン「クローバー」のご案内」

地域医療連携室 北山 奈穂子

当院では、がん患者さん対象のサロンを開催しております。

●患者サロンについて

がん患者さんやそのご家族の方が集まり、今の思いや悩みを語りあう場です。

病気や対処法について医療関係者からの情報収集を行ったり、患者さん・ご家族同士が気持ちや悩みを語り合ったりすることで、不安の解消や日常生活の工夫につなげることを目的としています。

同じ経験をされた方とお話することで少しでもほっとできる時間、場所にしていただきたいと思います。

治療中の方はもちろん、治療前の方や治療後の方のご参加も可能です。

●第5回がん患者サロン「クローバー」の開催

平成28年9月28日に第5回がん患者サロン「クローバー」を開催しました。外来通院中・入院中の患者さんとご家族合わせて5名の参加がありました。

今回はフリートークとして、テーマは決めずに患者さん同士でお話ができる時間を設けました。お話の内容としては、治療に関すること、情報収集の仕方、周囲への伝え方や気分転換の方法、食事の工夫などたくさん話題が挙がりました。それぞれ

「私はこうしているわ」

「こういうときどうしてる？」

など会話がとび交い、予定していた時間はあっという間でした。参加者の方からは、同じ思い

をしている人と話せて良かった、他の方の意見が聞けて良かった、との声が聞かれました。



患者サロン「クローバー」のようす

平成28年11月30日には第6回がん患者サロンを開催しました。今後も定期的に参加する予定です。

次回は平成29年1月25日（水）13：30からの開催を予定しておりますので、お気軽にご参加ください。

【お問い合わせ】

がん相談支援センター

電話：042-742-8311（代表）



～患者サロン「クローバー」名前の由来～

「クローバー」は葉っぱが集まっていることや横に広がっていることから、多くの患者さま・ご家族同士がつながりをもっていけるように、と希望を込めています。

「行幸道路あれこれ」

リハビリテーション科医長
丸谷 龍思

■はじめに

病院の正門近くに「行幸記念碑」があります。昭和天皇陛下が昭和14年3月14日(1939年)に当院に行幸された記念に建てられたものです。



行幸記念碑

今の若い人は「行幸」と言っても、わからないでしょうね。すなわち、天皇陛下の外出のことです。

また、病院の最寄り駅である小田急線の「小田急相模原」駅の前にある県道51号線は、通称「行幸道路」と呼ばれています。

天皇陛下が行幸道路を利用して当院へ行幸されているわけですが、そのあたりのことを書いてみましょう。

1) 行幸道路とは？

行幸道路とは、県道51号線（町田厚木線）のうち、町田市境橋から在日米軍キャンプ座間までの約7kmを指します。昭和天皇陛下が現在の座間キャンプにあった陸軍士官学校の卒業式に行幸するための道路として作られたため、この呼び名で親しまれています。

その当時、昭和12年（1937年）日本陸軍士官学校が市ヶ谷から当時の座間村・新磯村に設置され、麻溝村・大野村にまたがる広大な土地が練兵場となりました。

その広大さを示す例として、陸軍士官学校が現在の在日米陸軍座間キャンプに、陸軍通信学校が相模女子大に、臨時東京第三陸軍病院が独立行政法人国立病院機構相模原病院に、電信第一連隊が在日米軍相模原住宅地区に、相模原陸軍病院が伊勢丹や相模大野高校となっているそうです。なんと広大なのでしょう。

横浜線の原町田駅には、今も当時の面影を残すものがあります。その一つは、今の町田市営駐車場から境橋に向かう途中にある、大きなケヤキ並木です。この並木は現在、町田市の名木百選にも入っています。



原町田駅前のけやき並木

また、原町田駅にも天皇陛下や皇族方が乗降した「お召しホーム」もあったそうです。今でも、JR山手線の「原宿」駅には、白い建物の「お召しホーム」がありますね。新聞記事には、原町田駅の「お召しホーム」のことは掲載されていたのですが、実際の写真を見つけることはできませんでした。

ただ、このお召しホームは、昭和17年(1942年)に1回使用されただけで、戦後壊されたそうです。



2) 「奉仕記念碑」

当時を偲ばせるもうひとつものは、相模大野駅北口の市営自転車駐輪場前にひっそりと立つ記念碑です。当時は碑文も読めたのですが、現在は“奉仕記念碑”と書いてある大きな文字しか読めません。



相模大野駅近くの「奉仕記念碑」

行幸道路は、工事に携わった多くの青年団や学校生徒の献身的な勤労奉仕により、短期間のうちに完成したそうです。この碑は、その証に建立されています。

昭和12年、現在の米軍陸軍座間キャンプに移転した陸軍士官学校の移設後初めての卒業式には天皇陛下がご臨席されていましたが、その際には皇居から原町田駅まで「お召し列車」でおこしになったそうです。

原町田駅から陸軍士官学校までは、馬車もしくは車で行かれるのですが、道路は、昭和初期まで「(旧)府中街道」とよばれ、狭く、舗装もされていない、畑の中を通る細くカーブの多い道だったそうです。そのため急遽、原町田駅(境橋)から士官学校までの道路が整備されることになりました。昭和12年12月20日の新しくなった士官学校の卒業式に間に合わせるために、当時としては珍しいコンクリート製の道路が約7kmにわたって、2ヶ月の短期間のうちに整備されたという記録があります。

その後、天皇陛下は毎年行幸道路を通過して陸軍士官学校の卒業式に行幸されたそうです。

郷土史などを渉猟してみると、身近なものの歴史がわかり、なかなか面白いものです。

「クリスマス ジョイフルコンサート」

経営企画係長 富永 泰平

12月15日(木)に、今年で19回目となるクリスマス恒例「ジョイフルコンサート」が開催されました。今回は「2016冬～明日へ届く風～」と題して、「ウインズ」の皆さんによるすてきな“ブルーグラス”(スコッチ・アイリッシュの伝承音楽に起源をもつアコースティック音楽)の生演奏がありました。



「ウインズ」の皆さんによる熱演

いつもの見慣れた外来ホールは、この時だけは即席のコンサート会場に変わり、退屈になりがちな入院生活に少しでも彩りをそえるために、草原を駆け抜ける風を思わせる全12曲がさわやかに響きわたりました。

アンコールでは名曲「上を向いて歩こう」が演奏され、入院患者さんだけでなく一緒に聞いていた病院職員一同も大いに元気づけられました。

～「ウインズ」のご紹介～

ウインズは結成して22年のバンドです。アメリカ発祥の「ブルーグラス」というジャンルの音楽をメインに演奏活動しております。メンバーは何度か入れ替わりがありましたが、全員横浜在住で、主に湘南地区のライブハウスなどで演奏しています。

ブルーグラス音楽をより多くの人に知っていただくための活動も行っており、毎年6月に緑区の緑公会堂で開催している「リリーピッキングパーティー」というイベントの主催も行っております。このコンサートは最初は小規模なものでしたが、毎年お客様が増えて昨年は500名以上の方にお越し頂きました。今年も開催予定で、入場無料なのでよろしければ是非お越し下さい。(ウインズ・田中 伸太郎さん)

【国立病院総合医学会報告】

「口腔ケアの院内ラウンドをはじめて」

～標準プログラムを使用した他病棟との評価点の比較～

1階南病棟 看護師 井上 清江 葛西 美加
高橋 理偉子 高野 愛美
平戸 江梨夏
看護師長 谷嶋 寿々子

1. はじめに

当院は口腔外科・歯科はなく、歯科医師も歯科衛生士もいない。2009年、病棟内に口腔ケアチームが結成され、当病棟入院患者の口腔環境は明らかに改善された。

そこで院内の口腔ケアチーム結成に繋がりたいと考え、他病棟スタッフに対するアンケート調査をしたが、対象患者がほとんどいない等の理由から各病棟のリンクナース選出にも至らなかった。しかし、2012年から院内に配置された言語聴覚士（以下ST）から、口腔リハビリの依頼を受ける患者の中には口腔ケアを必要とする患者がいるとの情報を得て、2014年STとともに他病棟をラウンドし、口腔ケアをはじめた。

2. 研究目的

口腔ケアチームを結成している当病棟と、ラウンドした病棟とのケア介入前後の評価点の差を比較検討することにより、ラウンドによるケア介入の効果を明らかにする。

3. 研究期間

2014年1月～12月

4. 研究方法

- ① 依頼を受けた他病棟患者をSTとともにラウンド、ケアを実施
- ② 評価基準となる標準プログラムを使用し、口腔内評価
- ③ ラウンド開始から2週目までの評価点を比較。よって、2週目までに至らなかった患者および死亡退院患者を除いた17名について比較
- ④ 当病棟入院患者の内口腔ケアを必要とする患者中、2週目までに至らなかった患者および死亡退院患者を除いた87名についての評価点を比較

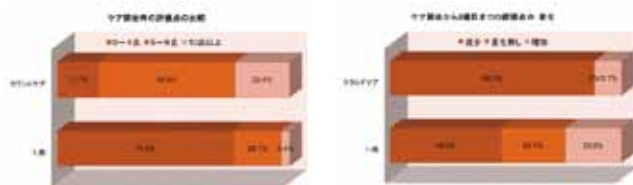
5. 結果

ラウンドした患者は合計31名、延べ回数94回。この中で比較対象となった17名のラウンドケア介入時の評価点は、最高値19点、最低値2点、平均点は8.1点。ケア実施後は88.2%の患者の評価点が減少した。減少した点数の平均値は3.2、標準偏差は4.4点であった。

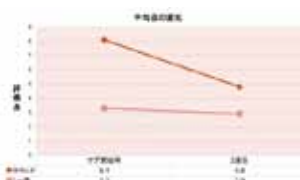
【コメント】

歯科医師を中心とした口腔ケアチームの活躍により、入院期間の短縮や肺炎の発症予防などに成果が見られるなど、口腔ケアの認知・重要性は一層高まってきています。そこで、当院の患者様の口腔環境の状況を把握し、少しでも改善されることを目標にこの研究に取り組みました。（井上）

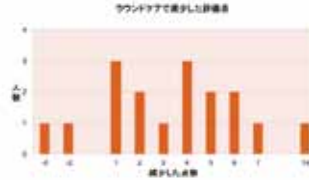
1) ケア開始時の評価点の比較 2) 評価点の変化



3) 評価点の平均点の変化



4) ラウンドで減少した評価点



6. 考察

評価点が増加した2名は、全身状態の悪化を伴っており、口腔環境と全身状態は密接な関係にあると言える。

評価点が5点以上の患者はケア方法に個別性が必要と判断し、ラウンドした病棟においてケアのポイントを指導したことがケアの効率化につながり、口腔環境が改善されたと考える。

ラウンドした病棟で、保湿剤の比較検討やマッサージを取り入れた看護研究に取り組んでおり、スタッフの口腔ケアに対する意識の変化に繋げることができた。

当病棟入院患者のケア開始時の評価点の平均点は低く、入退院を繰り返している患者家族への指導や、スタッフに対する定期的な技術指導により、評価点が低く継続できていると考える。

7. 結論

- ① ラウンドケア開始時の評価点は高いが、ラウンドケアを行ったことにより評価点が減少し口腔環境は改善され、ラウンドによるケア介入の効果はあった。
- ② 当病棟入院患者の評価点の推移は「変化なし」や「増加した」も多いが評価点は全体に高くは無く、口腔環境は良好に保たれている。

「解剖慰霊祭について」

経営企画室長 堀江 順

10月4日（火）当院体育館において、解剖慰霊祭が執り行われました。

この慰霊祭は、亡くなられた方々及びご遺族の尊いご意思により、疾病の原因や病態などの究明はもとより、これからの医学・医療の発展のために、ご遺体を提供いただいた故人のご冥福を祈願するものであります。

平成25年から平成27年までの間にご献体いただいた71名の慰霊者への黙禱に始まり、森統括診療部長より慰霊者名奉読、金田病院長による祭辞、ご遺族代表の方からの追悼のことは、参列者全員

による献花、最後に安達副院長よりご遺族への感謝の言葉が述べられて閉式となりました。

相模原病院職員一同、心から哀悼の意を表しますとともに、併せてご遺族皆様方のご健勝をお祈りします。



「解剖慰霊祭」で祭辞を読み上げる金田院長

職員募集のご案内

募集職種、人数	医師事務作業補助者 (非常勤職員) 若干名	業務技術員【看護助手】 (非常勤職員) 若干名	事務助手【病棟・外来クラーク業務】 (非常勤職員) 若干名
採用時期	随時～平成 29年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 ただし、その後も契約更新の可能性あり。)	随時～平成 29年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 繰り返し採用できる回数は最初の採用を 1回とし、原則 3回までとなります。)	随時～平成 29年 3月 31日まで (雇用期間は、1事業年度です。 繰り返し採用できる 回数は最初の採用を 1回とし、原則 3回までとなります。)
職務内容	病院勤務医の負担軽減を図るための医師事務 作業補助業務 1. 電子カルテにて医師の指示の下での 文書作成業務 2. 文書作成システムにて医師の指示の下 での文書作成業務 (いずれもパソコン使用) その他、医師の指示の下での電話対応、 データ入力あり	外来・病棟での看護師業務の補助 (例) 患者搬送、物品清掃、シーツ交換、 体位交換 (看護師と共同で実施)、 環境整備 等	病棟および外来におけるクラーク業務 (例) 入院受入れ補助、基本情報入力、 書類作成補助、 患者・家族・外来者への対応等 (電話対応、窓口対応) ※初心者の方も親切に指導いたします。
勤務時間	① 8時30分～15時00分 ② 9時30分～16時00分 ③ 10時30分～17時00分 当初は①のみの勤務、いずれは①～③のシフ トで勤務(休憩時間 30分)。 週 30時間勤務を基本とする。	8時30分～18時45分のうち 7時間45分(休憩時間 60分) 1日7時間45分・週4日勤務(週31時間) ※シフト制勤務のため、土日祝日の勤務あり。 夜勤可能者歓迎!	8時30分～17時15分の間の7時間程度 (休憩時間は勤務時間に応じて 30～60分あり) 1週間当たり 32時間以内の勤務
給与等	【時間給】 1,180円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)	【時間給】 1,190円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)	【時間給】 1,180円 【手 当】 通勤手当 (通勤実態に応じて規定により支給)
提出書類	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等	履歴書、職務経歴書等

★3 職種共通事項

応募方法	月曜から金曜（8時30分～17時00分）の間に電話連絡の上、提出書類を郵送して下さい。書類選考の後、面接日をご連絡いたします。
書類送付先	〒252-0392 神奈川県相模原市南区桜台 18-1 独立行政法人 国立病院機構 相模原病院 管理課給与係長 中澤 TEL 042-742-8311 FAX 042-742-5314
その他	上記募集内容の詳細をお知りになりたい方は、上記書類送付先担当者までご連絡下さい。 応募書類は返送いたしませんので、ご了承下さい。 提出書類は封筒に「○○○○○○○（←該当職種名）応募書類」と朱書きしてお送り下さい。

連載

近隣協力医療施設の紹介コーナー

相模原市 南区
「東林間歯科」



院長
壁谷 玲 先生

当院は小田急江ノ島線「東林間」駅より徒歩3分の場所に位置し、地域に密着した、かかりつけ歯科医院を目指しております。また、通院が困難な患者様に対して病院、施設、在宅への訪問診療を積極的に行ってまいります。

現在、歯科医師6名(常勤3名、非常勤3名)、歯科衛生士6名、看護師1名が在籍しております。保育士も常駐しておりますのでお子様連れの患者様も安心して通院していただけます。



インプラント専門医
今一裕先生

外来診療では一般診療に加えて、ご自身の歯を健康で長持ちさせるための予防歯科に力を注いでおります。インプラント治療は国立病院機構相模原病院でCT検査をお願いし、インプラント専門医が確かな診査診断のもと、安心、安全で長持ちする治療を心がけております。歯が一本だけない人から全くない人、骨が少ない人などさまざまな患者様に対応して治療しておりますので、ご不明な点がありましたら何でもご相談ください。

訪問診療は、歯科医院に通うことが難しい患者様のご自宅、病院、施設に訪問し、歯科治療を行っております。虫歯、歯周病、入れ歯、摂食嚥下、リハビリ、口腔ケアなど、通院しなくても院内と同じように歯科治療を受けることができます。



また、急な痛みや入れ歯のトラブルにはその日のうちに伺えるよう心がけております。



訪問・出縄かおる先生(左)



訪問診療を行っている範囲

現在、お口の中の

病気が様々な全身疾患(糖尿病、骨粗鬆症、心疾患、誤嚥性肺炎)と関わりがあるといわれております。当院では、国立病院機構相模原病院と緊密に連携をとり、お身体の状態に不安のある方にも安心・安全な歯科治療をうけていただけるように心がけております。当院より入院患者様の歯科治療や口腔ケア、外来通院患者様への歯科相談を行っております。

お口の中で何か気になることがありましたら国立病院機構相模原病院の入院案内センターまでお気軽にご相談ください。



スタッフ一同

【東林間歯科】

診療科：歯科、口腔外科、小児歯科、矯正歯科

外来受付時間：

診療時間	月	火	水	木	金	土	日
10:00~13:00	—	—	○	—	—	○	○
14:00~19:00	○	—	○	—	—	○	○
18:00~21:00	—	—	○	—	○	—	—

※“—”は訪問診療につき、初診・急患のみ受けつけております。

電話：042-746-4886

ホームページ：<http://www.higashirinkan-shika.jp>

住所：〒252-0302神奈川県相模原市南区

上鶴間5-9-18和興東林間ビル2F

